

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館は、東京都とともに、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しています。



東京都現代美術館

おさなごころを、きみに

2020年7月18日（土）— 9月27日（日）

既に発表している会期から変更となりました。

親子や幅広い年齢層がともに美術館を訪れ、誰もが持つおさなごころを体験的に問い直し、優れた芸術表現の可能性を知る「はじめの一步」となる企画として「おさなごころを、きみに」展を開催します。

本展は、かつてこどもだった私たち—大人が忘れてしまったクリエイティブな「おさなごころ」を思い起こし、メディアテクノロジーによる作品や映像を通して、こどもと大人と一緒に楽しめる展覧会です。触覚、身体、音と言葉、忘却、宇宙などをテーマとした空間を巡りながら、インタラクティブ体験、身体表現、音や文字による作品資料や映像上映、東京都現代美術館のコレクション展示を体験します。併せて、教育機関や地域と連携したオープンワークショップを会期中に展開します。

また、本展は「こどものための現代美術展」であると同時に、大人／こどもを往来する、いわばネオテニー（幼形成熟＝こどもの姿でありながら大人である）的なところのありかたをベースにしています。展示を通して、戦後から現在まで日本から世界に発信され、高く評価されている新旧のアート＆テクノロジーを知る／考えることを試みます。来館者は作品表現をこまやかに鑑賞し、身体を動かして作品の一部になったり、記念写真を撮ったり宇宙に触れたりしながら、空間を巡ります。そして、作品上映を楽しんだあと、展覧会の最後には、見慣れた世界の面白さを取り戻すために、「はてしない物語」（ミヒャエル・エンデ作）のように、忘れていた「本当の名前」を受け取ります。老いも若きも、親子もお友だちも、カップルもおひとりさまも、まるで生まれかわるように、新たな気持ちで美術館をあとにしていただければ幸いです。芸術も社会も新たな局面を迎えつつあるいま、私たちは技術や文化の特異点（シンギュラリティ）の中にいるのかもしれませんが、2020年の夏から秋のひとつとき、誰もが内包する「おさなごころ」を思いだし、次なる表現の可能性について考える展示をぜひお楽しみください。

展覧会3つのポイント

1 巡って楽しむ展示空間と関連プログラム

当館コレクション作品による導入展示に始まり、ゆるやかに重なり合う「触覚」「身体」「音と言葉」「忘却」「銀河」の空間を巡り、大型映像上映や、多様な年齢層を対象にしたオープンワークショップ（リモート開催を含め、会期中に展示室内で開催予定）をお楽しみください。「忘却」「銀河」の空間を抜けると、まるで生まれかわるように展示空間を再び回遊できます。

2 高精細映像による作品上映

高精細な8Kの映像作品（導入展示・無料）を上映します。微細な画面のすみずみに宿る表現の可能性にご注目ください。また、特別上映（3D・予定）をはじめとする会期中の関連プログラムにぜひご参加ください。

3 STEAM教育と気づきの展示

2020年度からプログラミング教育が必修になり、STEM教育（科学・技術・工学・数学）にA（Art）を加えたSTEAM教育の重要性も広まりました。本展では、1960年代から現在まで、プログラミングによって制作された、古くて新しい「生成される芸術」や「芸術と技術の融合領域」作品、現代美術領域でも一般化したVR（人工現実感）やAR（拡張現実感）、高精細映像、人工知能、人間拡張工学（超人スポーツ含む）など、広がる表現プラットフォームによる作品群をわかりやすく紹介します。ぜひこの機会に触れてみてください。

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

展示構成 出品予定作家

導入展示…時をとめるかのような美しさを湛えた作品群（当館収蔵品）や、8Kによる作品上映で映像と音を体感します。

「**触覚**」…視覚の比重が大きかった美術表現に対して、触覚の面白さや重要性を思い起こさせる展示です。

「**身体、音と言葉**」…書籍や文字による表現、体を動かして参加する作品で身体表現を追体験する試みです。

「**忘却**」…歴史的資料や新作など、新旧のメディアを通して、私たちの記憶やイメージを再考します。

「**銀河**」…クリエイティブなイマジネーションとともに生まれかわるために、宇宙の広がりを想像する展示です。

参加予定作家…名和晃平、吉岡徳仁、8K作品上映「MADD.作品集」、GRINDER-MAN、安藤英由樹、藤木淳、のらもじ発見プロジェクト、錯視ブロックプロジェクト、ジュスティーン・エマール、phono/graph、IDEAL COPY、CTG、幸村真佐男、森脇裕之、小阪淳、AR三兄弟、Rhizomatiks Research / ELEVENPLAY / MIKIKO / 真鍋大度 / 石橋素 / Kyle McDonald、渡邊淳司（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）、落合陽一×日本フィルプロジェクト（Visual: WOW）ほか

関連イベント等

高精細映像（8K）によるパブリック上映（3D・予定）、リモート開催（おさなごころミュージアム・仮称）や教育機関連携を含む参加作家らによるショーイング&トークなどを開催予定です。

※事情により内容変更となる場合があります。予めご了承ください。

※プログラムの詳細は当館ウェブサイトです。ご確認の上ご参加ください。

展覧会概要

会期	2020年7月18日（土）－9月27日（日）
休館日	月曜日（8月10日、9月21日は開館）、8月11日、9月23日
開館時間	10:00－18:00（展示室入場は閉館の30分前まで）
観覧料	一般1,300円／大学生・専門学校生・65歳以上1,000円／中高生800円／小学生以下無料
会場	東京都現代美術館 企画展示室 3F
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
共催	株式会社NHK エンタープライズ
特別協力	MADD. Committee／アストロデザイン株式会社
機材協力	シャープ株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
協力	公益財団法人科学技術広報財団／「一家に1枚宇宙図」制作委員会／一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団／国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）／株式会社ビデオリサーチ／ミネベアミツミ株式会社
企画	事業企画課 企画係 森山朋絵

同時期開催

企画展	「オラファー・エリアソン ときに川は橋となる」 カディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展「もつれるものたち」
コレクション展	「MOT コレクション いまーかつて 複数のパースペクティブ」

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報用画像



1 GRINDER-MAN 《HERO HEROINE》2018年

構成・演出・映像 タグチヒトシ (GRINDER-MAN)
 演出・振付 伊豆牧子 (GRINDER-MAN)
 システム開発 高島光
 音楽 菅原一樹
 出演 西嶋美幸
 テクニカルディレクション sforzando LLC.
 制作 小山田サトル、天野悠二 (GRINDER-MAN)
 監修 岩田洋夫
 協力 筑波大学エンパワーメント情報学プログラム
 Supported by **ASUS**



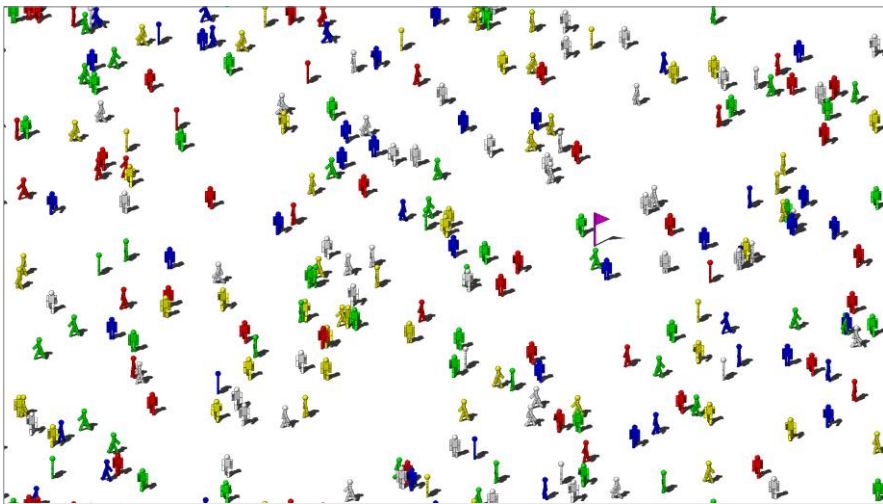
2 吉岡徳仁《ROSE》2013年
 東京都現代美術館蔵
 Photo by TOKUJIN YOSHIOKA Inc.



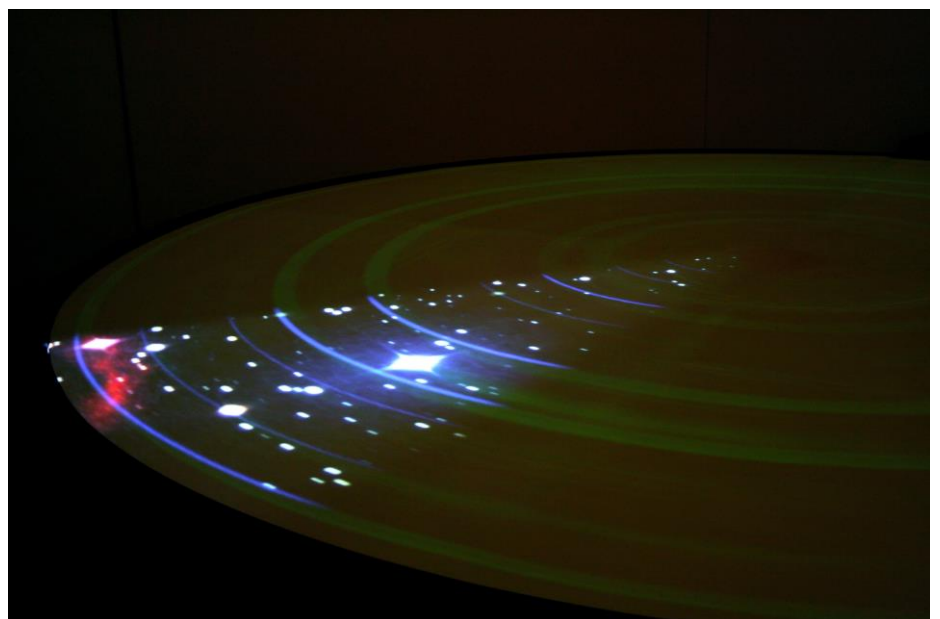
3 名和晃平《PixCell-Bambi #10》2014年
 東京都現代美術館蔵
 Photo by Ichiro Otani



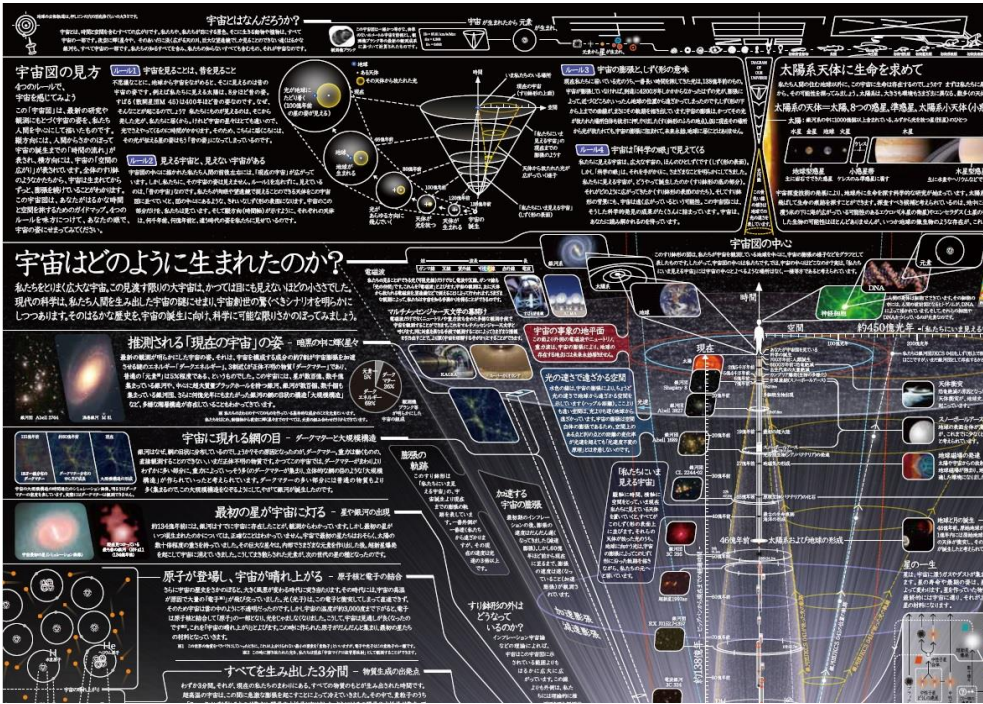
4 ジュスティーン・エマール《Co(AI)xistence》2017年、ビデオインスタレーション（12分）
with 森山未来 / オルタ（大阪大学石黒研究室、東京大学池上高志研究室）
© Justine Emard / Adagp, Paris 2020



5 藤木淳《P055E5510N》2011年
©Jun Fujiki

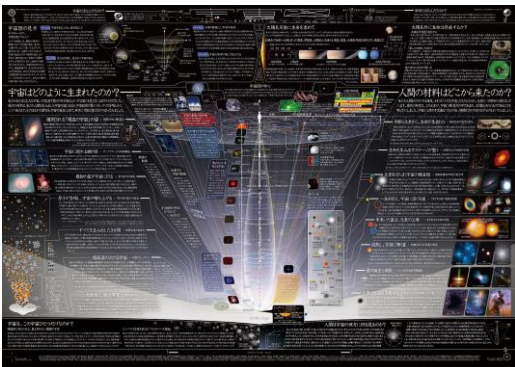


6 森脇裕之《時花(トキハナ)》2010年
© Hiroyuki Moriwaki



7 《一家に1枚 宇宙図2018》部分

著作：公益財団法人科学技術広報財団 制作：「一家に1枚宇宙図」制作委員会 アートディレクション：小阪淳



《一家に1枚 宇宙図2018》の全体画像は下記リンクからダウンロードしていただけます。

宇宙図2018（日英 PDF 公開）<http://stw.mext.go.jp/series.html>



8 AR 三兄弟
©川田十夢

画像請求書

広報用図版として 8 点をご用意しております。掲載ご希望の方はお手数ですが本請求書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてご連絡ください。なお、写真の使用に際し、**キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ずご表記ください。作品のトリミング、編集、文字載せはお控えください。**本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正原稿をお送りいただき、掲載後には、掲載誌（紙）、HP リンク、DVD、CD 等を広報班宛てにお送りください。

媒体名：

発売・放送予定日：

種 別： T V ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー

ネット媒体 携帯媒体 その他

御社名：

ご担当者名：

E メールアドレス：

ご住所：

T E L：

F A X：

ご希望の図版番号に印をお付けください。

- 1 GRINDER-MAN 《HERO HEROINE》2018 年
Supported by **ASUS**
- 2 吉岡徳仁 《ROSE》2013 年 東京都現代美術館蔵
Photo by TOKUJIN YOSHIOKA Inc.
- 3 名和晃平 《PixCell-Bambi #10》2014 年 東京都現代美術館蔵
Photo by Ichiro Otani
- 4 ジュスティーン・エマール 《Co(AI)xistence》2017 年、ビデオインスタレーション（12 分）
with：森山未来 / オルタ（大阪大学石黒研究室、東京大学池上高志研究室）
© Justine Emard / Adagp, Paris 2020
- 5 藤木淳 《P055E5510N》2011 年
©Jun Fujiki
- 6 森脇裕之 《時花(トキハナ)》2010 年
© Hiroyuki Moriwaki
- 7 《一家に 1 枚 宇宙図 2018》部分
著作：公益財団法人科学技術広報財団
制作：「一家に 1 枚宇宙図」制作委員会
アートディレクション：小阪淳
- 8 AR 三兄弟
©川田十夢

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。